

パインブリッジ米国ライジングスター好利回り債券ファンド 2018-02  
(限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付)  
愛称：ライジングスター 18-02 新規設定のお知らせ

当社は、平成 30 年 2 月 28 日（水）に「パインブリッジ米国ライジングスター好利回り債券ファンド 2018-02（限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付）（愛称：ライジングスター 18-02）」を新規設定いたしますので、お知らせいたします。

＜ファンドの特色＞

1. パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、米国の企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とします。

※当ファンドにおいて「好利回り債券」とは、格付機関による格付が BB+格相当以下の債券をいい、「ハイイールド債券」といわれることもあります。一般に、好利回り債券は、投資適格債券と比べて信用リスクが高いため、金利が上乘せされる傾向があります。

※当ファンドにおいて「ライジングスター」とは、投機的格付から投資適格格付へ、将来格上げが期待されるまたはパインブリッジ・インベストメンツが格上げ期待が高いと判断する銘柄を指します。

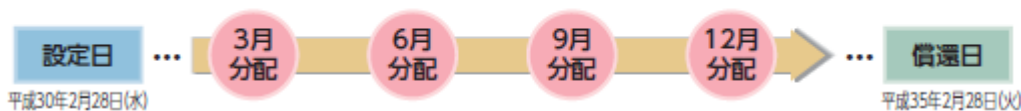
●当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。



※ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行う、複数のファンドを合同運用する仕組みをいいます。

2. 平成 33 年 2 月 26 日以降、基準価額（支払済の収益分配金を含みます。）が 11,000 円以上となった場合には、実質的に保有している好利回り債券を売却し安定運用に切り替え、速やかに繰上償還（早期償還）を行います。
3. 実質組入れの外貨建資産については、為替変動リスクを低減させるため、原則として為替ヘッジを行います。  
 ※為替ヘッジとは、当該通貨間にある短期金利差（為替ヘッジコスト）を負担することで、為替変動リスクを低減する手段です。為替ヘッジを行うことで、円高が日々の基準価額の下落要因にならないかわりに、円安は基準価額の上昇要因にはなりません。
4. マザーファンドの運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー（PineBridge Investments LLC）に外貨建資産の運用に関する権限を委託します。
5. 年 4 回（3・6・9・12 月の各 20 日、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、利子／配当等収益（インカム収入）を中心に分配を行います。なお、将来の分配金が保証されているものではなく、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。  
 ※第 1 期の決算は平成 30 年 6 月 20 日（水）となります。

【分配のイメージ図】



※上記はイメージ図であり、将来の分配金のお支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

## <ファンドの概要>

ファンド名	パインブリッジ米国ライジングスター好利回り債券ファンド 2018-02 (限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付) (愛称：ライジングスター 18-02)
商品分類	追加型／海外／債券
購入の申込期間	当初申込期間：平成 30 年 1 月 15 日 (月) から平成 30 年 2 月 27 日 (火) まで 継続申込期間：平成 30 年 2 月 28 日 (水) から平成 30 年 4 月 27 日 (金) まで ※当ファンドは限定追加型のため、平成 30 年 4 月 28 日 (土) 以降の購入の申込は受けません。
設定日	平成 30 年 2 月 28 日 (水)
信託期間	平成 35 年 2 月 28 日 (火) までの約 5 年
販売会社	委託会社の指定する金融商品取引業者および登録金融機関
基本方針	この投資信託は、主として米国の企業が発行する米ドル建の好利回り債券を実質的な主要投資対象とし、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。
投資対象	パインブリッジ米国フォーカス・ハイイールド債券マザーファンドを主要投資対象とします。
決算日	年 4 回 (3・6・9・12 月の各 20 日、休業日の場合は翌営業日) なお、初回の決算日は、平成 30 年 6 月 20 日 (水) とします。
収益分配方針	毎決算時に、以下の方針に基づいて分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する利子・配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。) および売買益 (評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。)) の全額とします。 ② 分配金額は、分配原資の範囲内で、基準価額水準、市況動向、運用状況等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ③ 分配金は、原則として決算日から起算して 5 営業日までにお支払いします。
購入価額	当初申込期間：1 口当たり 1 円とします。 継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入単位	販売会社が定める単位

## <ファンドにかかる手数料等について>

- 購入時に直接ご負担いただく費用
  - 購入時手数料：1 口当たり 1 円 (継続申込期間中は購入申込受付日の翌営業日の基準価額) に 3.24% (税抜 3.0%) の率を乗じて得た額を上限として、販売会社が独自に定めるものとします。
- 換金時に直接ご負担いただく費用
  - 換金時手数料： かかりません。
  - 信託財産留保額： かかりません。
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
  - 運用管理費用 (信託報酬)：信託財産の純資産総額に年 1.4364% (税抜 1.33%) の率を乗じて得た額とします。
  - その他費用：有価証券売買時の売買委託手数料、資産を海外で保管する場合の保管費用等 (運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)  
当ファンドの監査費用や印刷等費用 (信託財産の純資産総額の年率 0.108% (税抜年 0.1%) を上限とします。)

※ 費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

### ＜ファンドのリスク＞

当ファンドは、主として米ドル建の好利回り債券（ハイイールド債券）など値動きのある有価証券（外貨建の有価証券には為替変動もあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。なお、当ファンドが有する主なリスク要因として、以下の項目が挙げられます。

- ① 価格変動リスク
- ② 為替変動リスク
- ③ 金利変動リスク
- ④ 信用リスク
- ⑤ 流動性リスク

※当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」等をご確認ください。

お問い合わせは・・・パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
<http://www.pinebridge.co.jp/>  
TEL: 03-5208-5858(営業日の9:00~17:00)